

令和7年度

徳島県学カステップアップテストを
活用した学習指導について（国語）



令和7年度（4月）徳島県学カステップアップテスト結果（中学校国語）

【中学2年生】平均正答率・領域別正答率（%）

全体正答率	知識・技能	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと
40.7 (6.5)	44.9 (3.9)	45.4 (3.6)	48.5 (10.9)	31.6 (9.1)

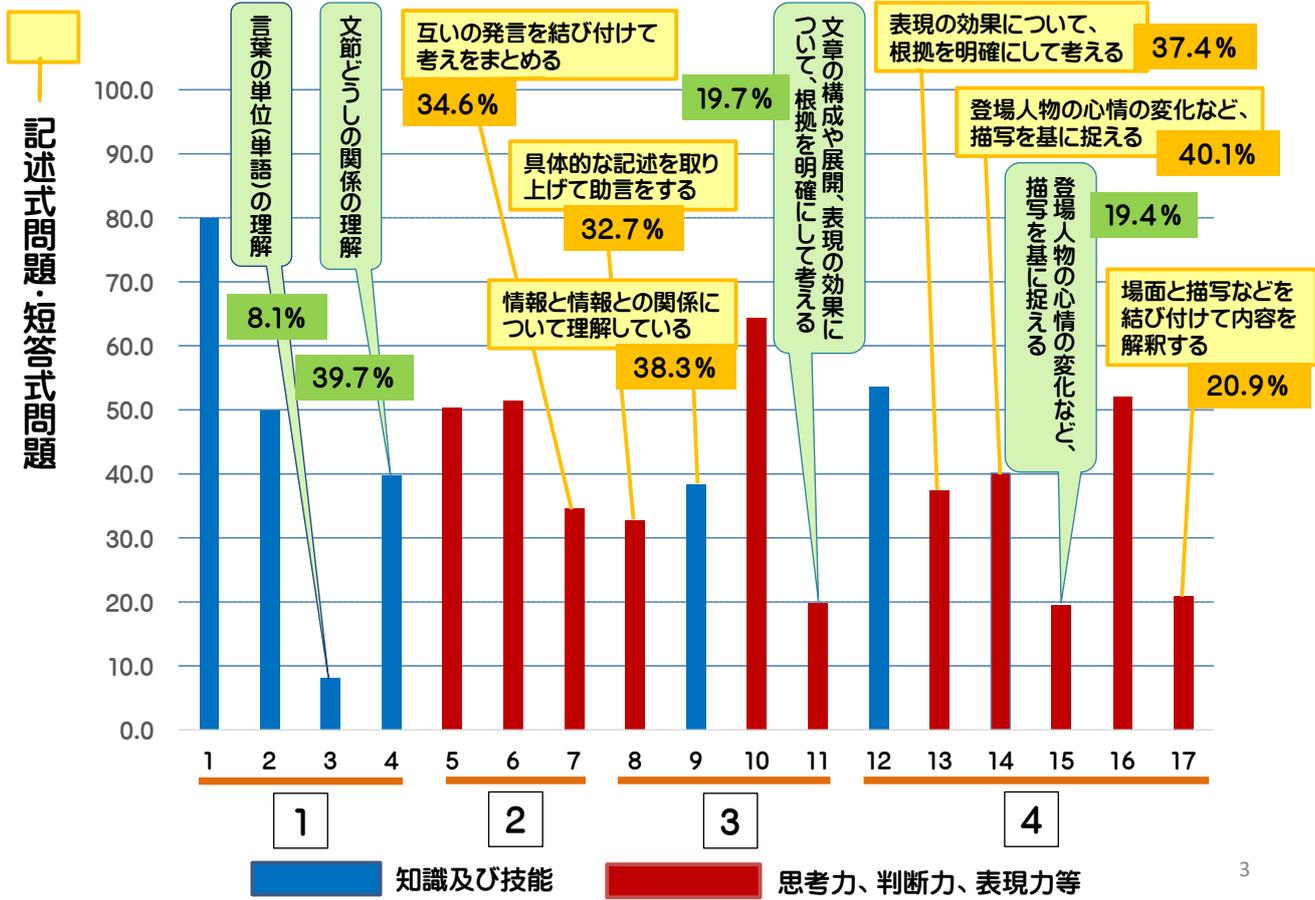
（ ）は無解答率

参考 令和6年度【中学1年生】平均正答率・領域別正答率（%）

全体正答率	知識・技能	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと
55.9 (2.4)	71.8 (0.3)	52.0 (1.5)	41.3 (4.8)	46.1 (4.3)

（ ）は無解答率

令和7年度 ステップアップテスト(設問別正答率) 中2



令和7年度中学校第2学年国語問題構成表

問題番号	出題の趣旨	配当学年	学習指導要領の内容						評価の観点		
			知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度				
一 1	漢字を文中で正しく使うことができるかどうかをみる	1	○					○			
一 2	漢字を文中で正しく使うことができるかどうかをみる	1	○					○			
三 9	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	1		○					○		
三 10	段落の役割などを認識して、文章の展開を考えて書くことができるかどうかをみる	1				○			○		
四 11	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる	1					○		○		
一 12	表現の技法について理解しているかどうかをみる	1	○						○		
二 13	表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる	1					○		○		
三 14	場面や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる	1						○	○		
四 15	場面や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる	1						○	○		
五 16	場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈することができるかどうかをみる	1						○	○		
六 17	場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈することができるかどうかをみる	1						○	○		

育成を目指す資質・能力の定着の確認のために

令和7年度
中学校第2学年
国語

注意

- 1 「始め」の合図があるまで、冊子を開かないでください。
- 2 先生の指示があつてから、組、出席番号、氏名を書いてください。
- 3 問題は、1ページから13ページまであります。
- 4 答えは、全て解答用紙の所定の欄にはっきりと書いてください。

組	出席番号	氏名

1 言葉の単位(単語)について理解している。

正答率 8.1
無解答率 1.4

次の文は、いくつの単語からできていますか。その数を答えなさい。

新鮮な魚を手早く調理する。

答え 5

新鮮な／魚を／手早く／調理する。

1 4 文節どうしの関係について理解している。

正答率 39.7
無解答率 1.0

次の文について、——線部の二つの文節どうしの関係は何ですか。適切なものを、あとの1から4までのの中から一つ選びなさい。

昨日、祖父母から 家に 絵はがきが 届いた。

- 1 主・述の関係
- 2 修飾・被修飾の関係
- 3 並立の関係
- 4 補助の関係

※参考

令和六年度 第二学年

1 三 次の文は、いくつの単語からできていますか。その数を答えなさい。
(答え 7) 次の／試合に／向け、／一生懸命／練習する。

令和六年度 第一学年

1 四 次の文の主語はどれですか。適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選びなさい。

昨日、祖父母から家に絵はがきが届いた。

- 1 昨日
- 2 祖父母から
- 3 家に
- 4 絵はがき

2 鈴木さんたちは、総合的な学習の時間に、職場体験学習に取り組んでいます。この時間は、職場体験の訪問先にお礼の気持ちを伝える方法について、グループごとに話し合っています。次は、鈴木さんのグループの話し合いの様子の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

2 鈴木さんたちは、総合的な学習の時間に、職場体験学習に取り組んでいます。この時間は、職場体験の訪問先にお礼の気持ちを伝える方法について、グループごとに話し合っています。次は、鈴木さんのグループの話し合いの様子の一部です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

【話し合いの様子の一部】

鈴木 そうですね、職場体験の訪問先にお礼の気持ちを伝える方法について話し合いを始めたと思います。私、手紙がよいと思います。一生のときに、小学校に読み聞かせのボランティアにいったことがあるのですが、そのときに小学生からお礼の手紙をもらってうれしかったです。

石川 私は鈴木さんと同じで、手紙がよいと思います。私も手紙をもらってうれしかったです。相手の思いが伝わってうれしかったです。もらった手紙は、今も大事にしています。

山田 そうですね、手紙がよいと思います。自分の気持ちを相手に伝わりやすい、と言いましたが、それはどうでしょうか。

田中 電話だと、言葉だけではなくて、声からも思いが伝わるからだと思います。同じ内容を伝えるとすれば、電話のほうが、自分の気持ちが生き生きと表現できると思っています。

山田 確かに、電話だと時間を共有しているから、声から相手の表情まで想像できますよね。その点では、手紙より電話のほうがよいといえるかもしれません。

石川 電話のほうはよいのですが、私は、やはり手紙がよいと思います。理由は二つあります。一つは、もらった喜びがあるからです。もう一つは、受け取った側がうれしく思えるからです。

鈴木 今の石川さんの発言を聞いて、中学校に入學するとき、入学のお祝いとしてくれた祖父母に手紙を送ったことのことを思い出しました。今でも、祖父母に送ったこと、あのとき手紙をもらったうれしかったことや何度も読み返して元気をもらっていることを話してきました。手紙にしかないよさがあるのではないかと思います。

石川 私は、相手の都合を考えると、手紙がよいと思います。私は、班長として、訪問先に事前打ち合わせの電話をかけたのですが、担当の方とお話ししようにもなかなか電話が繋がらなかったんです。打ち合わせに間に合っていないことが分かりましたので、お礼の電話をかけて、お仕事の手を止めてしまうことは申し訳ないと思います。

司会 今、石川さんから聞いた視座の意見が出てきましたが、このことについてどのように思いますか。

山田 手紙だと、都合に合わせて、読めるときに読んでもらうことができますね。それに、職場体験に関わってくださった全ての方に読んでもらうことができないと思います。電話だと担当の方とお話できないのは、いいですね。全ての方に読んでもらえる手紙のほうがよいのではないかと思います。

田中 相手の都合を考えると、手紙以外に電子メールという方法もあると思います。電子メールなら、電話と違って、あとから何度でも読み返すこともできます。

司会 音声ではなく、文字で表現するという点では、手紙と電子メールは同じですが、今回のお礼の気持ちを伝える方法としては、どのように考えますか。

石川 今回の職場体験では、どの職場も、お礼する側もお礼を受ける側も一人ではないので、電子メールという方法は通していいのではないかと思います。それに、届くまでには時間がかかる手紙と比べて、すぐに相手に届くというよさがありますが、手紙がよさげに十分に相手のお礼の気持ちが伝わりにくいと思えると思います。

鈴木 誰か内容については、電子メールも手紙と同じことはできると思います。ですが、電子メールでは、書き書いても同じ文字で個性が出せないのに対して、手紙は手書きの文字で個性が表れます。手紙のほうが受け取った側もうれしく感じるのではないのでしょうか。最初に、小学生からお礼の手紙をもらってうれしかったという例をしましたが、心をこめて丁寧に書いた文字から相手の気持ちが伝わってきたからです。

【話し合いの様子の一部】

先ほど、田中さんが、「電話のほうが、自分の気持ちが相手に伝わりやすい」と言いましたが、それはどうでしょうか。という発言について説明したものと最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1 田中さんの発言の中で納得できなかったことについて、発言の要点を明らかにするために質問をしている。

2 田中さんの発言の中で理解できなかったことについて、発言の意図を確かめるために質問をしている。

3 田中さんの発言の中で関心をもちたことについて、さらに詳しく知るために質問をしている。

4 田中さんの発言の中で共感したことについて、共通点を明確にするために質問をしている。

2 話し合いの話題や展開を捉えながら、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。

正答率 34.6
無解答率 9.3

このあと、各グループの話し合いの結論を共有するために、各グループの代表者が報告することになりました。あなたが鈴木さんのグループの代表者なら、どのように報告しますか。報告する内容をまとめた、次の文章の一部【A】・【B】に当てはまる言葉を、【話し合いの様子の一部】の言葉を用いて書きなさい。ただし、【A】は五字以上、十字以内で、【B】は十字以上、十五字以内で書くこと。

私たちのグループでは、お礼の気持ちを伝える方法は手紙がよいという結論になりました。手紙がよいと考えた理由には、電話と比べて、もらったときの喜びが大きいこと、【A】、自分の都合に合わせて読めること、関わってくださった全ての方が読めることがあげられます。さらに、手紙は電子メールと違って、【B】があげられ、その違いからも手紙でしか味わえないよさがあると考えたからです。

話し合いの結論

お礼の気持ちを伝える方法

手紙がよい

理由

①もらったときの喜びが大きいこと

②【A】(例) 繰り返し読めること

③自分の都合に合わせて読めること

④関わってくださった全ての方が読めること

⑤【B】(例) 手書きの文字で個性が出せること

電話と比較して

①②③④

電子メールと比較して

⑤

鈴木 私は、手紙がよいと思います。一年生のときに、小学校に読み聞かせのボランティアにいったことがあるのですが、そのときに小学生からお礼の手紙をもらってうれしかったからです。(略)

石川 私は鈴木さんと同じで、手紙がよいと思います。私も手紙をもらったことがあるのですが、相手の思いが伝わってきてうれしかったです。もらった手紙は、今も大事にしています。(略)

石川 電話のよさも分かるのですが、私は、やはり手紙がよいと思います。理由は二つあります。一つは、もらったときの喜びがあるからです。もう一つは、受け取った側が繰り返し読むことができるからです。

鈴木 今の石川さんの発言を聞いて、中学校に入学するときに、入学のお祝いしてくれた祖父母に手紙を送ったときのことを思い出しました。今でも、祖父母に会うと、あのとき手紙をもらってうれしかったことや何度も読み返して元気をもらっていることなどを話してくれます。手紙にしかないよさがあるのではないかと思います。

石川 私は、相手の都合を考えると、手紙がよいと思います。私は、班長として、訪問先に事前の打ち合わせの電話をかけたのですが、担当の方とお話ししようにもなかなか電話がつながりませんでした。とにかく忙しくされていることが分かりましたので、お礼の電話をかけて、お仕事の手を止めてしまうことは申し訳ないように思います。(略)

山田 手紙だと、都合に合わせて、読めるときに読んでもらうことができますね。それに、職場体験に関わってくださった全ての方に読んでもらうことができると思います。電話だと担当の方としかお話できないのではないのでしょうか。私が体験する職場では、担当の方以外に、十人ぐらいの方が関わってくださることになっているので、全ての方に読んでもらえる手紙のほうがよいのではないかと思います。(略)

鈴木 書く内容については電子メールも手紙も同じにすることはできると 생각합니다。ですが、電子メールでは、誰が書いても同じ文字で個性が出せないのに対して、手紙は手書きの文字に個性が表れます。手紙のほうが、受け取った側もうれしく感じるのではないのでしょうか。最初に、小学生からお礼の手紙をもらってうれしかったという話をしましたが、心をこめていいねに書いた文字から相手の気持ち伝わってきたからです。

3 井上さんの学級では、国語の時間に、「食品ロスについて」というテーマで意見文を書いています。今日の授業では、自分たちが書いた意見文をグループで読み合い、付箋を使ってアドバイスを伝え合います。次は、同じグループの井上さんの意見文の下書きと岡本さんの意見文の下書き、友達が書いたアドバイスの一部と岡本さんがアドバイスを受けて探した資料です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

※文書作成ソフトを使って書く。

ICTの活用

交流する場面

井上さんの意見文の下書き
皆さんは、「食品ロス」について、どのくらい意識しているだろうか。「食品ロス」とは、売れ残りや食べ残し、味期限切れなど、まだ食べられるのに捨てられている食品のことだ。現在、さまざまな店で、食品ロスを削減するための取り組みが行われている。
先日、家族で外出をしていたとき、昼食を買うためにコンビニエンスストアに寄った。パンが並べられている前に立つと、棚が左右に分けられ、左側の棚には、値引きされたパンが並んでいた。買おうと思っていたパンがなくなってしまったので、少しでも安いほうが得だと思い、値引きされたパンを手に取った。棚を見ると、食品ロスの削減協力しようという表示があった。食品ロスの削減に少しでもこうけんできているのだと思うと、うれし気分になった。店内を見わたすと、「てまえどり」をしようという表示もあり、食品ロスの削減に向けた取り組みが進められていると感じた。
スーパーマーケットでも、期限切れが近づいた商品を値引きして販売している。その他にも、売り方を見直す取り組みが行われている。
食品ロスの削減のために、私たち消費者にできることは何だろうか。私は、むやみに新しいもの、新せんなどのを求めすぎないことが大切だと思う。牛乳パックの消費期限の表示を見て、棚の奥から選んで買う人が多くなる。どうなるだろうか。手前の牛乳はいつまでも残ることになる。私は、すぐ食べるのが分かっている場合は、値引き商品を買ったり、棚の手前にある商品を買ったりすることを意識したいと思っている。

岡本さんの意見文の下書き
ザザザザ。大量に捨てられる悪劣な映像をニュースで見たと、思わず、「もったいない」と声をあげてしまった。節分に縁起物として食べる悪劣な映像やクリスマスケーキなど、時期が限定される商品は、時期を一日でも過ぎると大量に捨てられる。私も、悪劣な映像のニュースで食品ロスの問題を意識するようになったが、スーパーマーケットなどの小売店では、毎日売れ残りなどが食品ロスとして出ているのだ。
ところで、私たちの家庭ではどうだろうか。食品ロスは、決して食品メーカーやスーパーマーケットだけの問題ではない。食品ロスは、事業活動をともなう発生する「事業系食品ロス」と各家庭から発生する「家庭系食品ロス」に分けられ、家庭でも食品ロスの問題に取り組みなければ解決にはならないと考える。もったいないという状況は、家庭でも毎日起きているのである。
では、私たちは、毎日の生活の中で、どのような取り組みができるのだろうか。食品ロスについて、インターネットで調べていると、消費者庁が発行した資料の中に「徳島県で行った調査の結果」が示されていた。徳島県が住む徳島県のデータというところもあり、とても興味深いものだった。その資料には、まだ食べられるのに捨てられたらと「二位、食べきれなかった」「二位、傷ませてしまった」「三位、賞味期限・消費期限が切れていた」と書かれていた。この結果から、「作りすぎ」「買いすぎ」が食品ロスの大きな原因になっていることが分かった。私は、これからは、買いたくないものを意識したいと考えている。
日本では、食べられるのに捨てられる食品の量が年間五百二十万トンと推計されている。これは、日本の人口一人当たり毎日おにぎり一個を捨てている計算になる。現在、日本の人口が約一億二千四百万人であることを考えると、食品ロスがいかに大きな問題であるか想像できるのではないだろうか。食品ロスの問題は、私たち一人一人が意識して取り組んでいかなければならないのである。

3 書き手の目的と意図を理解した上で、具体的な記述を取り上げて助言をすることが出来る。

正答率 32.7
無解答率 20.3

井上さんは、交流のあと、【井上さんの意見文の下書き】の~~~~線部「その他にも、売り方を見直す取り組みが行われている。」という文を、「その他にも、食品ロスを減らす行動について店頭ポスターなどで知らせたり、通常の価格では販売できない商品を集め、格安セールを行ったりするなど、売り方を見直す取り組みが行われている。」と書き直しました。書き直した文から、どのようなアドバイスが付箋に書いてあったと考えられますか。付箋に書かれていた内容を示した、次の文の□に当てはまる言葉を、【井上さんの意見文の下書き】の言葉を用いて十五字以上、二十字以内で書きなさい。

「その他にも、売り方を見直す取り組みが行われている。」

アドバイスを受けて書き直す。

【付箋に書いたアドバイス】

売り方を見直す取り組みについて、□以外の例も書いたほうがよいと思います。

「その他にも、食品ロスを減らす行動について店頭ポスターなどで知らせたり、通常の価格では販売できない商品を集め、格安セールを行ったりするなど、売り方を見直す取り組みが行われている。」

【井上さんの意見文の下書き】

皆さんは、「食品ロス」について、どのくらい意識しているだろうか。「食品ロス」とは、売れ残りや食べ残し、賞味期限切れなど、まだ食べられるのに捨てられている食品のことだ。現在、さまざまな店で、食品ロスを削減するための取り組みが行われている。

先日、家族で外出をしていたとき、昼食を買うためにコンビニエンスストアに寄った。パンが並べられている棚の前に立つと、棚が左右に分けられ、左側の棚には、値引きされたパンが並んでいた。買おうと思っていたパンが値引きされていたので、少しでも安いほうが得だと思い、迷わず商品を手に取った。棚をよく見ると、食品ロスの削減に協力しようという表示があった。食品ロスの削減に少しでもこうけんできているのだと思うとうれしい気持ちになった。店内を見わたすと、「てまえどり」をしようという表示もあり、食品ロスの削減に向けた取り組みが進められていると感じた。

スーパーマーケットでも、期限切れが近づいた商品を値引きして販売している。その他にも、売り方を見直す取り組みが行われている。

食品ロスの削減のために、私たち消費者にできることは何だろうか。私は、むやみに新しいもの、新せんなものを求めすぎないことが大切だと思う。牛乳パックの消費期限の表示を見て、棚の奥から選んで買う人が多くなると、どうなるだろうか。手前の牛乳はいつまでも残るようになる。私は、すぐ食べるのが分かっている場合は、値引き商品を買ったり、棚の手前にある商品を買ったりすることを意識したいと思っている。食品を販売する側と消費者のどちらも食品ロスの削減を意識すること。それが、食品ロスの問題を解決することにつながるのである。

その他 Ⅱ それ以外

それ(指示する語句)が指すもの

「期限切れが近づいた商品を値引きして販売している」

答え (例) 期限切れが近づいた商品の値引き販売 (十七字)

3二 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。

正答率 38.3
無解答率 16.6

岡本さんは、田村さんからの【アドバイスの一部】を踏まえて、——線部①「家庭でも食品ロスの問題に取り組まなければ解決にはならないと考える。」のすぐあとに、「このように述べた根拠を書き加えることになりました。あなたなら、【資料】を見て、どのように書きますか。次の条件に従って書きなさい。

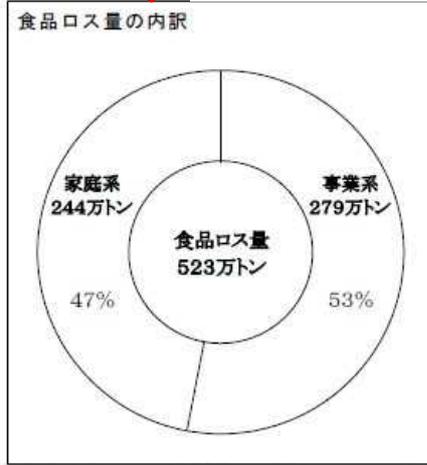
条件 「なぜなら、食品ロス量の内訳を見ると、」に続けて書き、二十五字以上、三十字以内で書くこと。

【アドバイスの一部】

田村
「家庭でも食品ロスの問題に取り組まなければ解決にはならないと考える。」と考えたのはどうしてなのか、理由を書いたほうがよいと思います。理由を書くことで、家庭で取り組むことの大切さが伝わるのではないでしようか。

アドバイスを受けて資料を探す

ICTの活用



(農林水産省及び環境省「令和3年度推計」より作成。)

答え (例) (なぜなら、食品ロス量の内訳を見ると、)家庭系食品ロス量が全体の半分近くを占めることが分かるからだ。(三十字)

3四 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。

正答率 19.7
無解答率 1.5

井上さんたちは、読み手に分かりやすく伝えるための工夫をして意見文を書いています。【井上さんの意見文の下書き】と【岡本さんの意見文の下書き】に共通している工夫として適切なものを、次の1から5までのの中から全て選びなさい。

- 敬体で丁寧に述べることで、読み手に親しみを感じさせている。
- 最初と最後に結論を示すことで、伝えたいことを明確にしている。
- 読み手を引き付けるために、呼びかけたり問いかけたりしている。
- 伝えたいことを印象付けるために、具体的な数値を使って説明している。
- 具体的な体験や見聞を入れることで、伝えたいことを身近に感じさせている。

- 【井上さんの意見文の下書き】を A
 【岡本さんの意見文の下書き】を B
- 1 敬体で丁寧な述べることで、読み手に親しみを感じさせている。
A・Bどちらも「常体」
 - 2 最初と最後に結論を示すことで、伝えたいことを明確にしている。A・Bどちらも「結論は最後」
 - 3 読み手を引き付けるために、呼びかけたり問いかけたりしている。
A ・皆さんは、「食品ロス」について、どのくらい意識しているだろうか。
食品ロスの削減のために、私たち消費者にできることは何だろうか。
牛乳パックの消費期限の表示を見て、棚の奥から選んで買う人が多くなると、どうなるだろうか。
ところで、私たちの家庭ではどうだろうか。
では、私たちは、毎日の生活の中で、どのような取り組みができるのだろうか。
現在、日本の人口が約一億二千四百万人であることを考えると、食品ロスがいかに大きな問題であるか想像できるのではないだろうか。
 - 4 伝えたいことを印象付けるために、具体的な数値を使って説明している。
B ・食べられるのに捨てられる食品の量が年間五百二十万トン
日本の人口一人当たり毎日おにぎり一個を捨てている／日本の人口が約一億二千四百万人
 - 5 具体的な体験や見聞を入れることで、伝えたいことを身近に感じさせている。
A コンビニエンスストアでのこと
B 大量に捨てられる恵方巻きの映像をニュースで見たこと

4-2 表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。

正答率 37.4
無解答率 15.7

高橋さんたちは、一年生のときから、心に残る言葉や気になる言葉に出会ったら、自分の表現に生かせるように「言葉の手帳」に書き留めるようにしています。次は、高橋さんの言葉の手帳【です】にどの言葉を書き留めたのかを、感想を参考にして、【本の一部】から一文で抜き出して書きなさい。

【高橋さんの言葉の手帳】

4月17日

- ・けれども、体はよろこんでいる。もっともっと動こうぜ、とぼくに呼びかけてくる。
- ・うまく言葉にできないけれど、体自身ももっと自分を試したがっている。

書名 「空をつかむまで」 著者名 関口 尚

☆感想

「最初は軽く走ってそのまま終わりにするつもりだった。」とあるように、そこまで走るつもりがなかった「ぼく」が、いつの間にか思いっきり走るようになった場面がとても気に入った。その中でも、特に、3か所の表現が印象に残った。「ぼく」が、自分の意思で走るのではなく、まるで体につき動かされているかのように、巧みな表現だと思った。

自分の意思で走るのではなく、
まるで体につき動かされているかのよう

- ・体はよろこんでいる。もっともっと動こうぜ、とぼくに呼びかけてくる。
- ・体自身がもっと自分を試したがっている。

答え

それでも、体はまだまだばくに要求してくる。

継続的な指導

日常的な指導

4三 場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。

正答率 40.1
無解答率 12.3

【本の一部】では、二年ぶりに真剣に走った「ぼく」のすがすがしい気持ちや情景描写を通して表現されています。その気持ちや表現された、連続した二文を、【本の一部】の中から探し、初めの五字を書きなさい。

「空には容赦なく光と熱を撒き散らしている七月の太陽がいる。校庭の地面は乾ききっていて、走ったあとには白い土ぼこりが巻き上がる。」

【本の一部】一段落より

情景の描かれ方の変化
||
心情の変化

情景描写
人物の心情と響き合うように描かれた風景や場面の描写。

「息を止めて、体の中のすべての力をしぼり出すようにして、ゴールを駆け抜けた。空がとても広く感じられる。入道雲がきらきらと光って見える。」

【本の一部】六段落より

答え 空がとても

4四 場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。

正答率 19.4
無解答率 2.7

次の1から5までの猫田の心情を、話の展開に沿って順番に並べ替えるなどのようになりますか。1から5までを適切に並べ替えて書きなさい。

「猫田」の行動や会話に着目

「おい、優太。」
「元氣じゃないの。思いっきり走っちゃってさ。」
猫田がにやにやと笑いかけてくる。
猫田が意外そうな顔をする。
「そうなのか。」
猫田は残念そうに腕組みをした。
「じゃあ、サッカー部に戻ってくるのかよ。」
ふてくされた口調で猫田が訊いてくる。
「そ、そうだよな。」
猫田がほっとしたように笑い、べらべらと続けた。
「いま優太が戻ってきてても、そう簡単にまた元のレベルにまでうまくなるのは難しいもん。それに、おれたち三年だつてこの夏が終われば部活は引退だし。」
「じゃあ、おれ、もう行くよ。」
猫田はボールをグラウンドに蹴り返す。
「わ、わかったよ。」

「おい、優太。」

「元氣じゃないの。思いつきり走っちゃってね。」

猫田が「にやにやと笑いかけてくる。」

← 1 走る優太の姿を見て、からかってやるうという気持ち。

猫田が意外そうな顔をする。

「そっなのか。」

猫田は残念そうに腕組みをした。

← 4 優太の予想外の返事にがっかりする気持ち。

「じゃあ、サッカー部に戻ってくるのかよ。」

ふてくされた口調で猫田が訊いてくる。

← 2 優太が戻ることを、おもしろくないと思う気持ち。

「そ、そっだよな。」

猫田がほっとしたように笑い、べらべらと続けた。

「いま優太が戻ってきてても、そう簡単にまた元のレベルにまでうまくなるのは難しいもんな。それに、おれたち三年だつてこの夏が終われば部活は引退だし。」

← 5 優太の返事に安心したものの、気が気でない気持ち。

「じゃあ、おれ、もう行くよ。」

猫田はボールをグラウンドに蹴り返す。

「わ、わかったよ。」

← 3 堂々とした優太の発言を聞いて、うろたえる気持ち。

答え 1 ↓ 4 ↓ 2 ↓ 5 ↓ 3

4六 場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈することができる。

正答率 20.9
無解答率 19.8

次の文章は、高橋さんが、この作品の表現の工夫について、自分の考えを書いたものです。あなたなら、次の【高橋さんの文章】の□にどのように書きますか。□に当てはまる言葉を、【本の一部】の中から一文で抜き出して書きなさい。

【高橋さんの文章】

この作品の「ぼく」と猫田との場面を読んでいるとき、一年生のとき、「星の花が降るころに」で学習したことを思い出した。主人公の「私」が、銀木犀の花をぱらぱらと落とす行動や銀木犀の木の下をくぐって出る行動から、気持ちの変化を読み取ることができると思う。

学びのつながり

この作品にも、「ぼく」の気持ちが変わったと分かる行動描写があり、読んでいておもしろいと思った。逃げるようにサッカー部をやめ、負い目を感じている「ぼく」が、猫田に話しかけられる場面で、「思わずぼくは自分の左膝に手を当てた」という表現が見られる。膝が痛いふりをするので、傷つけられないようにしてきた「ぼく」の、自分を守ろうとする気持ちが表されていると感じた。その「ぼく」が今までの自分を振り切る姿が、□の一文で表現されていると思った。これからも、同じものや場所が出てくる場面に着目して、場面や描写を結び付けて読みたいと思う。

「元気じゃないの。思いつきり走っちゃってさ。」

猫田がにやにやと笑いかけてくる。思わずぼくは自分の左膝に手を当てた。

いや、まだまだ膝が悪いけど、いやなことがあったから、やけになつて走ってみようかな、なんて。

そんな言い訳が頭に思い浮かんだ。しかし、膝から手を放して、はつきりと答えた。

「膝はもう治ったんだ。思いつきり走れるんだよ。」

【本の一部】より

答え　しかし、膝から手を放して、はつきりと答えた。

令和七年度 徳島県学力ステップアップテストからみられる課題

話題や展開を捉えて話し合う【話すこと・聞くこと】

・共通点と相違点に注意しながら聞き、他の人の意見と結び付けて質問したり、自分の考えと関連づけて述べたりする。

根拠を明確にして書く【書くこと】

・調べて考えたことを報告する際は根拠となる事実を明確に示す。

・根拠として確かな情報を選ぶと、説得力が増す。(統計などの数値、具体例、専門家の知見など)

描写に着目する【読むこと】

・登場人物の心情は、直接説明するだけでなく、人物の行動や風景の描写にたくして表現されることも多い。

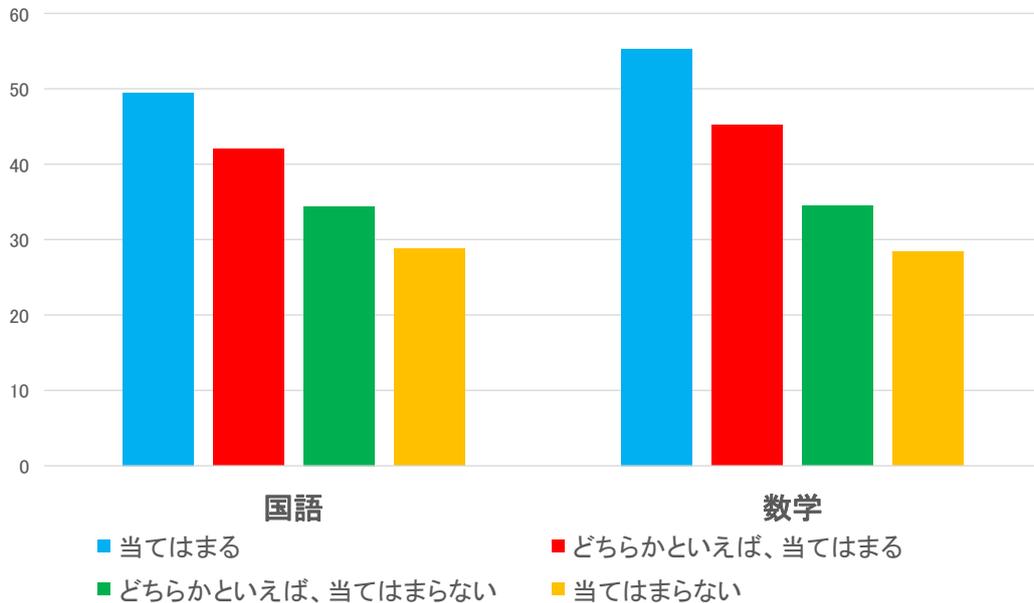
・描写に着目しながら丁寧に読むことで、より深く作品を味わえる。

結び付けて解釈する【読むこと】

・複数の場面に出てくる同じ物や場所、表現を結び付けて考えることで、場面や描写に新たな意味を見いだす(解釈すること)ができる。

生徒が学習課題を把握し、 その解決に向けての見通しをもつこと

(11) 学習した内容について、よく分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。



23
振り返りについての質問 (R7年度生徒質問紙より)

学習の見通し・振り返りについて

【見通し】のポイント

「何を学ぶのか」「なぜ学ぶのか」「どのように学ぶのか」を、
生徒が理解することが大切

※ **めあてを提示**し、問題解決への意欲を高めよう。

【振り返り】のポイント

・自己評価 (生徒自身の言葉で記述)

・「見通し」と対に

※ **授業(単元)の終わりには、めあてに対応した振り返りの時間を確保しよう。**

【振り返り】の意義

- 教師が指導の改善を図るため。
- 生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにするため。

【振り返り】の項目（例）

- 学習で意識したこと。
- 身に付いた力やできるようになったこと。
- 課題を解決するために試行錯誤したこと。
- 前時までには学習したことで、本時の学習に役立ったこと。
- 頑張ったけれど、十分ではなかったこと。
- 学習したことで、今後の学習や生活の中で生かせそうなこと。
- さらに学びたいこと。

25

学力向上のための授業改善



目指す子供の姿

- 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができる。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する活動において、目的や意図に応じて、必要な情報を選び、他者と伝え合うことを通して、自分の思いや考えを明確にしたり、深めたりして、表現することができる。
- 課題解決に向けて活動に粘り強く取り組むなかで、言葉を通じて人と関わり、言葉がもつよさを認識しようとしたり、言葉をよりよく使おうとしたりしている。

「国語科における『令和7年度の重点』」より

26

学力向上のための授業改善



目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

- ①育成を目指す資質・能力を明確にし、実施状況を評価して改善を図りながら、生徒一人一人に最適な学びを重ねていく場の設定
- ◇振り返りやアンケート、学力調査等を活用して**生徒一人一人のつまずきを捉え**、螺旋的・反復的に繰り返しながら、資質・能力の定着を図る。
- ◇国語科で育成した資質・能力を他教科等の学習に生かすことができるように、**教科等横断的な学習の充実**を図る。

「国語科における『令和7年度の重点』」より

27

学力向上のための授業改善



目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

- ②「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を関連させ、言語活動を通して資質・能力を育成する単元の構想と展開
- ◇目標と言語活動の設定の工夫、学習の手引きや多様なモデルの提示等を通し、**他者と協働して、生徒が言葉による見方・考え方を働かせながら、ICTを効果的に活用するなどし、主体的に学習を進める過程を設定する。**
- ◇語彙の量と質の充実を図るために、**読書活動の推進や実生活に関連した言語活動**を取り入れるなどして、語句を蓄積することや蓄積した語句を意図的に使わせることに、継続的に取り組む。

「国語科における『令和7年度の重点』」より

28

学力向上のための授業改善



目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

- ②「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を関連させ、言語活動を通して資質・能力を育成する単元の構想と展開
- ◇情報を取り出して整理し、その関係を捉えることで、話や文章を正確に理解したり、自分のもつ情報を整理して、その関係を分かりやすく明確にすることで、適切に表現したり発信したりする学習活動を設定する。
- ◇前学年や小学校での**既習事項を活用**する場面を設定する。

「国語科における『令和7年度の重点』」より

29

学力向上のための授業改善



目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

- ③身に付けた資質・能力や学習内容をICT活用等により自覚化を図る指導の充実
- ◇多様な**学習の記録**（ノート、成果物、映像等電子データ）が生まれるように工夫をする。
- ◇「**書くこと**」を通して**振り返り**をさせるとともに、**ICTの利用**等により共有して学びを深めさせる。

「国語科における『令和7年度の重点』」より

30

**授業改善と学力向上に
取り組んでいきましょう！**